

さざなみ



★Contents(主な内容)★

- ☆ 令和3年度第1回セミナー活動報告
「あらゆる人が支えあい、助けあうすみよいまち」
- ☆ 令和3年度第2回セミナー活動報告
「言葉の力が未来を変える」
- ☆ 活躍する女性にインタビュー

あらゆる人が自分らしく

輝き互いに思いやるまち 成田をめざして



～あらゆるひとが自分らしく輝き

互いに思いやるまち成田をめざして～

第4次成田市男女共同参画計画を策定しました！



基本
目
標



- ①女性の参画拡大のための機械づくり
- ②仕事と家庭を両立できる環境づくり
- ③暴力を許さない社会づくり
- ④生涯を通じて安全・安心を実感できる地域づくり
- ⑤人権を尊重する男女共同参画に向けた意識づくり

◆計画期間：令和3年度～令和7年度◆

No. 57

成 田 市

2021年11月発行

第1回

あらゆる人が支えあい 助けあう住みよいまち

～お互い可能性を広げていこう～

令和3年6月27日(日) 午後1時30分～
中央公民館 講堂



男女共同参画の基礎講座として、男女の意識や防災における女性活躍についてお話いただきました。



【講師】NPO 法人パートナーシップ
ながれやま 理事 山口文代さん

参加者の声



男女共同参画の基本を学ばせていただきました。差別のない生きやすい社会を考えるきっかけになりました。



まだまだ日本の男女平等に対する理解が世界に比べて劣っているのが驚きでした。



講師が役所勤めで女性センター長を経験されていたことが、女性関連の問題をより積極的な視点でお話された講演でした。

「男女共同参画社会」とは？

今回のセミナーに参加するまで、私はこの言葉の意味もよく理解していませんでした。男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動において共に責任を担う社会を作っていくという概念で、それは行政、企業、市民、すべての人が共同であるということです。性は自分が選んで生まれたわけではなく、自分ではどうすることもできないことに「男だから、女だから」と生きづらさを感じる時もあります。

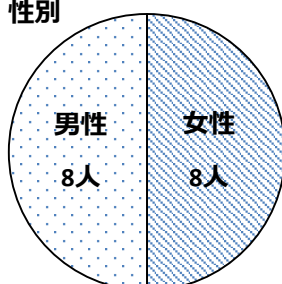
年齢、職業、国籍、人種、性別に対する無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）についてもお話いただき、それは誰もが持っている固定観念や思い込みであり、自分自身が持つ思い込みについて改めて考えさせられました。

人権についての問題は子育て、防災、ジェンダー、介護等、あらゆる分野に繋がっています。すべての人が安心して過ごすことができ、命と暮らしを守る社会づくりが重要だと感じたセミナーでした。

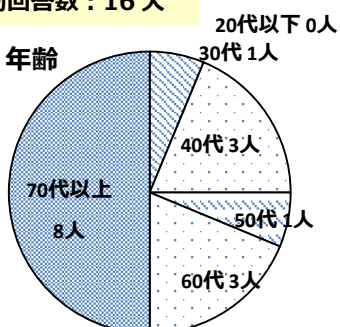
(大木推進員)

参加者アンケート結果 参加者数 33 人有効回答数：16 人

Q1 性別



Q2 年齢





第2回 言葉の力が未来を変える

～アフターコロナに向けての言葉の力～

令和3年7月18日(日) 午前10時30分～

赤坂ふれあいセンター 大会議室

「自分の言葉でハッピーの化学変化を起こせるようになる」
スキルを伝授していただきました。

参加者の声



ペップトークを家庭や職場に取り入れて、
実行していきたいと思います。

講師の実体験を紹介していただき、
非常に分かりやすかったです。



何歳になっても相手の心情になかなか寄
り添えておらず、今回は納得させられる実
りあるセミナーでした。



【講師】 Ange Gardien 代表・日本ペップトーク
普及協会認定セミナーファシリテーター

菅野 昭子さん

成田市の男女共同参画セミナーに菅野先生をお招
きするのは、今回が3回目です。

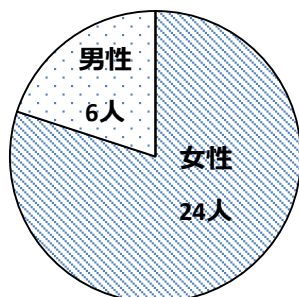
言葉の力はコミュニケーションをとる手段の一つ。
「ペップ」は英語で「勇気」を意味し、「ペップトーク」
とは短く、分かりやすく、肯定的な勇気づけのトーク
スキルのことです。人を励ます「ゴールペップトーク」
には、①受容（事実の受け入れ）②承認（とらえかた
変換）③行動（してほしい変換）④激励（背中へのひと
押し）の4ステップがあることなどを、効果的な資料
をもとにご自身の体験を踏まえながら分かりやす
く話されて、言葉の力で相手も自分も元気になれる
ことを知り得た講演でした。

実際にペップトークのトレーニングを行って、状
況をポジティブに捉え、肯定的な言葉で伝えていく
ことが相手を励ますことになると実感することが
できました。「自分の言葉で自分を励まし、自分への
言葉かけを大切にしてほしい。」と力強く話される
先生のお言葉が印象的でした。言葉の力を明日から
の人間関係に生かしていきたいです。

（谷推進員）

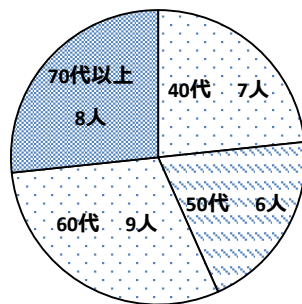
参加者アンケート結果 参加者数 : 45 人 有効回答数 : 31 人

Q1 性別



Q2 年齢

30代以下 0人



活躍する女性にインタビュー！

昨年度好評だった、性別にとらわれずさまざまな職種で活躍する方へのインタビューに続き、^{なべだ}「鍋店酒造」で酒造りをする女性にお話を伺いました。



左から：神田さん、佐藤推進員、平山さん、坂井推進員

平山さん（入社6年）

事務員の求人を見て入社しましたが、気づいたら蔵人の仕事の奥深さにはまっていました。

体力勝負の仕事ですが、様々な酒造りの工程の中でも「もろみの変化、動きを管理し、最良のタイミングを見極める」ことにはこだわりがあり、プレッシャーもありますがそれ以上にやりがいがあります。

蔵人になるための特別な資格は必要ないので、少しでも日本酒に興味がある人は、是非見学に来てほしいです。

神田さん（入社3年）

大学で醸造化学を専攻し、もともと微生物に興味がありました。大学の実習で醸造を訪れ、蔵人を目指すようになりました。

力仕事が多く大変ですが、働く中では男女平等ですので、男性同様に力仕事もこなします。山登りが好きで、体力には自信があります。

他の人には負けない私のこだわりは「掃除」です。酒造器具は薬品が使えないため、熱湯で掃除をします。誰よりも丁寧に、細かい箇所まで綺麗にする自信があり、いい日本酒を作るためには欠かせない仕事です。



男性と同等の力仕事をされるお二人が「遠慮ないですよ(笑)」と笑顔で答えても、こだわりを持って日本酒造りをされる芯の強さを感じました。お二人の名前が入った日本酒が作られるのを楽しみにしています。

（坂井推進員・佐藤推進員）

次回もお楽しみに！

11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。

夫・パートナーからの暴力に悩んでいたら、ひとりで悩まず相談してください。

パープルリボンとは、DVをはじめとする女性に対する暴力をなくすことを目的とした国際的シンボルだよ。
うな。



女性のための相談

毎週木曜日 専門の女性相談員によるカウンセリング
午前10時～正午・午後1時～午後4時（祝日を除く）
（予約制・成田市市民協働課 0476-20-1507 へ）

千葉県女性

365日 24時間電話相談 043-206-8002

サポートセンター

面接相談有 平日午前9時～午後5時（予約制）



※さざなみは、市役所、各支所、公民館、図書館、保健福祉館、三里塚コミュニティセンター、公津の杜コミュニティセンター、男女共同参画センター、市のホームページにあります。

登録番号成協 21-026